

固定記事とブログの削除方法と 記事内のファイル削除方法

2024/05/15

サーバの容量が契約している容量よりもオーバーしている、もしくはオーバーしそうだという状態になったときには、過去のブログや固定記事を削除して容量を減らす必要があります。

ただし、作成したブログや固定記事を削除しただけではそれほど容量は減らすことはできません。

なぜなら、ブログや記事を消してもその中に直接アップロードした画像やPDFファイルはそのままサーバ内に残っているからです。

そして、ブログや記事のテキスト部分よりも画像やPDFファイルの容量の方が概して大きいものが多く、サーバの容量を圧迫してしまいます。

それらのファイルを削除することで、サーバで使用している容量を大幅に減らすことができる場合があります。また、Googleなどの検索にも引っかからなくなります。

不要になったそのようなファイルはダウンロードして保存しておき、サイトからは定期的に削除するようにしましょう。

記事内のファイルを完全に削除するには、管理者権限で「サイト管理者」以上の権限をもつアカウントでログインする必要があります。

1. 削除準備

記事内にアップロードした画像、PDF、音源ファイルなどのテキスト以外のファイルは削除前に事前にパソコン内にダウンロードしておきます。

サイトやサーバ内からもファイルを削除してしまうと、後日そのファイルが必要になった時にファイルがなくなってしまいます。

それを防ぐためにも、完全にファイルを削除する前に必ずパソコン内にバックアップとしてファイルをダウンロードしておきましょう。

また、削除する前にそのファイルのURLをあらかじめメモ等で保存しておくと後でファイル削除する際に該当するファイルを見つける際に使用します。

例：<https://○○○○/file/147> ←赤文字の数字部分が大事！(数字は変わります)

2. プラグインや記事を削除

次に、プラグインや記事を削除しますが、その記事がどのプラグインに記載されていたかによって削除の方法が変わってきます。

2-1. 固定記事を削除する場合

プラグイン（フレーム）ごと記事そのものを削除、または非公開にする方法です。

2-1-1. フレーム削除



⚙️ → 「フレーム削除」 → **✓ フレーム削除** でフレームを削除します。
ただし、この場合はコンテンツ（記事）そのものはサーバ上に残っており、別のフレームで再利用することができます。

※以前作成した記事を別のフレームで表示させて利用するには、次の図のように ⚙️ → 「表示コンテンツ選択」から作成済みの記事を選択します。

元のフレームの有無にかかわらず記事（コンテンツ）が残っていて、そのコンテンツを別のフレームで選択して表示することができます。

[無題]

固定記事

データ削除 表示コンテンツ選択 権限設定 フレーム編集 フレーム削除

選択	更新日 ↓	使用ページ	データ名	フレームタイトル	内容
<input checked="" type="radio"/>	2024-05-12 17:59:48	テストページ	無題	[無題]	現在の桜の開花状況
<input type="radio"/>	2024-04-14 14:58:59		無題		これはテストサイトです

2-1-2. データ削除

「フレーム削除」に対して「データ削除」は、テキストデータ（コンテンツ）も削除してしまいます。

また、さらにオプションでフレームも同時に削除することが可能です。

[無題]

固定記事

データ削除 表示コンテンツ選択 権限設定 フレーム編集 フレーム削除



Excelキーボードのショートカット.pdf

データを削除します。
元に戻すことはできないため、よく確認して実行してください。

フレームも同時に削除します。

キャンセル データ削除

「フレームも同時に削除します。」に✓を入れると、フレーム自体も削除することができます。

データ削除を行った場合は、サーバ上に記事のデータは残りませんので、 → 「表示コンテンツ選択」の一覧には表示されません。

2-1-3. フレームを非公開にする

フレームを非公開に設定することで、プラグインを管理できる権限をもつ管理者以上でないと見ることはできなくなります。

ただし、データを削除するわけではないのでサーバの容量は減りません。

前回の記事をサンプルとして残しておきたい場合などに有効です。

💡 注意！

フレーム削除、データ削除、及びフレーム非公開のいずれの場合もコンテンツ（記事）のみを削除・非公開にしただけで、記事内にアップロードされた画像やPDFファイルなどのテキスト以外のファイルは削除されません。

全てのファイルはサイトやサーバ上に残っており、これらは Google 検索や Yahoo 検索などの検索で表示されることがあります。

サイトやサーバから完全に削除するには、別の作業が必要になります。

2-2. ブログの場合

固定記事に対して、ブログの場合は少し手順が違います。

固定記事は1つの記事（コンテンツ）に対してフレーム削除やデータ削除ができますが、ブログの場合はフレーム削除やデータ削除をすると、ブログ全体削除されたり、記事がすべて消えることになります。

手順を誤るとブログ自体が消えることがありますので、十分に注意して作業をしましょう。

2-2-1. ブログの中の特定の記事内を削除

ブログ内にある複数の記事のうち特定の記事だけを削除したい場合は、削除したい記事を編集モードにして、「削除」を押下します。



2-2-2. ブログのフレームを削除（ブログは残す場合）

ブログのフレームは削除するけれど、ブログ自体は残したい場合は、 → 「フレーム削除」でそのブログのフレームを削除します。

この場合は、ブログ自体は残っているので、例えば別のページにブログを移動したい場合などにこの方法を使うことができます。

※詳細は「ブログを別のページに移動させるには」のマニュアル参照

2-2-3. ブログ自体を削除する（ブログの記事もすべて削除する場合）

【注意】

ブログ自体を削除してしまった場合、元にもどすことができなくなる可能性があります。

そのため、ブログ自体を削除する際には細心の注意を払う必要があります。

削除したいブログの  を押下し、「設定変更」のタブを開きます。



もしくは、ブログの  から「選択」のタブを押下し、削除したいブログの  を押下します。



下までスクロールすると  が出てきますので、それを押下します。
確認画面が出てきたら、再度確認して問題がなければ削除します。

3. 最後にアップロードファイルを削除

固定記事やブログを削除したら、その中に含まれていた画像やPDFなどのファイルを個別に削除します。

ここで削除することによって、サイトからも完全に削除することができます。

※以下の手順を実行するためには、サイト管理者以上の管理者権限でログインする必要があります。

画面右上「管理機能」→「管理者メニュー」で管理者メニューを開きます。



左側のメニュー一覧の「データ管理系」にある「アップロードファイル」を押下します。

アップロードファイルの一覧が表示されます。

ここに検索窓がありますので、ここから削除するファイル名で検索します。



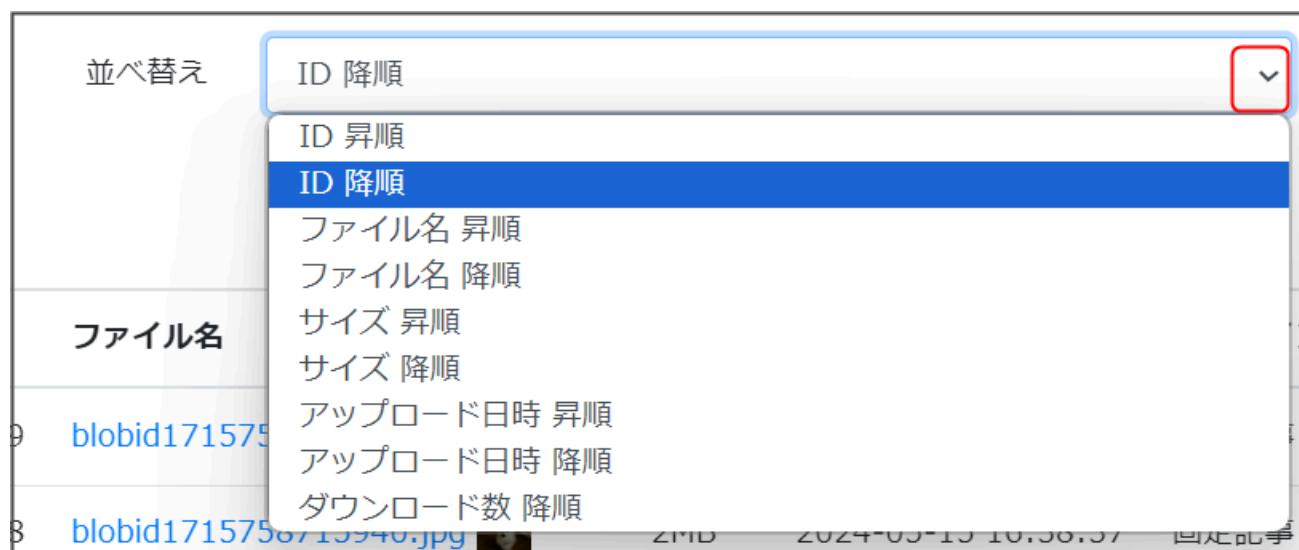
アップロードファイル一覧 ユーザディレクトリ一覧

絞り込み条件 ▾

ファイル名

並べ替え ID 降順

また、一覧を「並べ替え」で並び替えることができます。



並べ替え ID 降順

ID 昇順

ID 降順

ファイル名 昇順

ファイル名 降順

サイズ 昇順

サイズ 降順

アップロード日時 昇順

アップロード日時 降順

ダウンロード数 降順

ファイル名	blobid1715756719340.jpg	サイズ	2MB	登録日	2024-05-15 10:58:57	操作
blobid1715756719340.jpg						

削除前にメモしておいたファイルのURLの最後の数字がファイルのID番号（①）になります。

これで削除すべきファイルが特定できます。

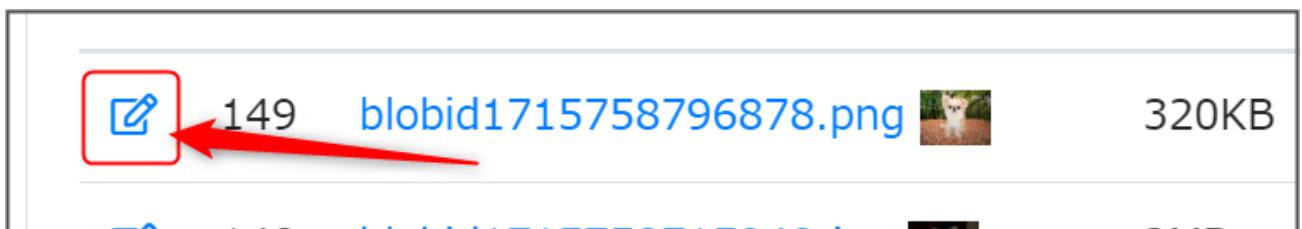
その他、以下はファイル情報の一覧です。

ID	ファイル名	サイズ	アップロード日時	プラグイン	ダウンロード数	ページ	一時
149	blobid1715758796878.png	320KB	2024-05-15 16:39:58	固定記事	0		
148	blobid1715758715940.jpg	2MB	2024-05-15 16:38:37	固定記事	0		
147	blobid1715736872891.jpg	63KB	2024-05-15 10:34:35	ブログ	0	home	
146	blobid1715607780122.png	16KB	2024-05-13 22:43:01	固定記事	0	テストページ	
145	blobid1715607428012.png	40KB	2024-05-13 22:37:11	固定記事	0	テストページ	
144	blobid1715606504758.jpg	19KB	2024-05-13 22:21:46	固定記事	0	テストページ	
143	Excelキーboroードのショートカット.pdf	200KB	2024-05-13 22:13:50	固定記事	3	テストページ	

①	ID	該当するファイルのURLの最後の数字です
②	ファイル名	ファイル名がわかる場合は検索で指定することが可能です。 ファイル名の横にはプレビューが表示されていますので、ここからも画像ファイルを確認できます。
③	アップロード日時	アップロードした日時です
④	プラグイン	元のプラグイン名
⑤	ページ	元のページ名、ここが空欄の場合はすでに削除されたページ内にあったファイルです

削除すべきファイルが特定できたら、実際に削除作業になります。

一番左にある  を押下します。



アップロードファイルの編集モードになります。

アップロードファイル一覧	ユーザディレクトリー一覧	アップロードファイル編集
ID	149	
ファイル名 <small>必須</small>	blobid1715758796878	
ダウンロード	blobid1715758796878.png	
拡張子	png	

下の方にスクロールすると、削除ボタンが出てきますのでそれを押下します。

【注意】
一時保存ファイルにするとファイルは非公開になります。アップロードした人以外は見えなくなるため、操作する際はご注意ください。

✗ キャンセル ✓ 更新 ✓ 削除

確認画面になりますので、本当に削除していいか確認後 ✓ 本当に削除する を押下して削除します。

以上の作業を削除したいファイルごとに行うことでサーバ上から完全にアップロードファイルを削除することができます。

Tips !

サイトの現在の使用状況（容量）を確認するには「管理者機能」→「管理者メニュー」から「サイト管理」を押下し、「使用容量」のタブを押下することで確認することができます。

※Connect-CMSのバージョンによっては上記の方法で確認できない場合があります。

その場合は、サポート宛にご連絡ください。

support@opensource-workshop.co.jp

